

第4回公開シンポジウム

「地域と環境とエネルギー」

主催：広島大学大学院総合科学研究科

共催：広島大学エネルギー超高度利用研究拠点、エコネットひがしひろしま

後援：東広島市

開催要領：

これまで、広島大学総合科学研究科では「地域と環境とエネルギー」をテーマに掲げ公開シンポジウムを開催し、昨年度東広島市が認定された『バイオマス産業都市』に焦点を絞った議論も行いました。今回は、バイオマス産業都市として実績のある真庭市の市長に基調講演をしていただきました。

今回は、人口20万人を抱える中核都市、大学を抱える文教都市、農村部を抱える中山間地域、沿岸部を抱える水産地域という多様性を有する東広島市に焦点を絞り、市長の講演をベースに地域、環境、エネルギーについて議論を深めたいと考えています。

日時 2019年3月6日(水) 13時～17時 (12時開場)

場所 東広島市市民文化センター アザレアホール (無料)

13時00分 開会挨拶 広島大学大学院総合科学研究科 岩永 誠 研究科長

13時5分～13時15分 趣旨説明 広島大学 小野寺真一 教授

【第1部：東広島市を考える】

13時15分～14時15分 東広島市の取り組み 東広島市 高垣広徳 市長

14時20分～14時50分 エネルギーの地産地消に向けて 市川貴之 広島大学 教授

14時50分～15時15分 持続可能な資源利用と環境 小野寺真一 広島大学 教授

15時15分～15時40分 賀茂台地エコミュージアムの可能性 浅野敏久 広島大学 教授

【第2部：総合討論】15時50分～16時50分

パネラーによる討論

コメンテータ：薦田直紀さん(サステナブル地域づくりセンター)

山田芳雅さん(合同会社ひとむすび) 他

16時50分 閉会挨拶 広島大学 小野寺真一 教授 17時終了

問い合わせ：広島大学大学院総合科学研究科

082-424-6496

sonodera@hiroshima-u.ac.jp

東広島市農林水産課生産基盤整備係

082-420-0939

